

支部便り

北陸支部 秋期講演会中堅企業支援セミナー開催報告

A report of seminar on supporting for small and medium enterprise by Hokuriku branch, Japan Institute of Light Metals (Autumn annual meeting of Hokuriku branch, 2022)

土屋 大樹
Taiki TSUCHIYA

令和4年11月17日(木)13時から北陸支部令和4年度秋期講演会・中堅企業支援セミナーをウイング・ウイング高岡4階センターホールにて、開催した。今回は初めてウイング・ウイング高岡にて、開催される講演会となった。例年のとおり、(公社)日本金属学会北陸信越支部、(一社)日本鉄鋼協会北陸信越支部、(一社)日本機械学会北陸信越支部、(公社)日本材料学会北陸信越支部、(一社)日本塑性加工学会北陸支部、(公社)日本鋳造工学会北陸支部の協賛、(一社)富山県アルミ産業協会と(一社)富山県機電工業会の後援をいただいた。本紙面を借りて御礼申し上げる。

講師、企業幹事との意見交換のあと、講演会を開催し、60名が聴講参加した。

招待講演はアルテアエンジニアリング株式会社 技術本部 廣田英二郎氏より「シミュレーションを使用したアルミニウム押出の解析と最適化」と題して、押出型材の多様な断面形状に対応したシミュレーション事例を紹介いただいた。これまでに200件以上の投稿論文での報告実績があることに驚きであった。型材の欠陥予測だけでなく、異なる焼入れ条件での冷却シミュレーションやダイス寿命の予測など興味深い内容を講演いただいた。

続いての招待講演は、SCSK株式会社 プロダクト推進部 星 雅人氏より、「アルミ塑性加工シミュレーションの基本と解析事例紹介」と題して、20種以上の塑性加工に対するシミュレーションが行えるソフトウェアや、実験値との合わせ込みの事例について紹介いただいた。また塑性加工以外にもアルミニウム合金の熱処理による強度の予測や、焼入れ条件の最適化事例について、興味深い講演をいただいた。

続いて企業発表は、YKK AP株式会社 生産本部 素材技術部 小田省吾氏より「押出加工応力低減による6000系アルミニウム押出型材の曲げ加工性向上」と題して講演いただいた。アルミニウム合金押出型材の曲げ加工性向上のために、押出型材の集合組織について調べ、応力分布からクラックの発生位置の予測、進展のメカニズムについて考察し、さらに曲げ加工性の改善まで行った事例が紹介された。

今回は、多くの参加者があり、活発に質疑、討論いただくことができた。



図1 アルテアエンジニアリング株式会社 廣田英二郎氏による招待講演



図2 SCSK株式会社 星 雅人氏による招待講演



図3 YKK AP株式会社 小田省吾氏による企業発表